事業報告書

とやま未来創造ミーティング２０２０

主催：富山市・公益社団法人富山青年会議所

【作成】
富山市

公益社団法人富山青年会議所
メンバーシップ醸成特別委員会

２０２０年　3月

目次

Ⅰ　事業概要
　１　本報告書の位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１
　２　「とやま未来創造ミーティング２０２０」開催に至る経緯・・・・・・Ｐ１
　３　「とやま未来創造ミーティング２０２０」開催概要・・・・・・・・・・Ｐ１

Ⅱ　討議結果
　テーマ：「とやまの未来と私」
　　議題Ⅰ）まちづくりってなんだろう？
　　議題２）自分にできることってなんだろう？
　　◆　２月１５日　各グループのまとめ・投票結果・・・・・・・・・・・・Ｐ４
　　◆　２月１６日　各グループのまとめ・投票結果・・・・・・・・・・・・Ｐ１３

Ⅲ　アンケート結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ２２

≪参考資料≫
１．開催案内書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３４
２．開催案内チラシ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３５
３．開催風景・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３７

Ｉ　事業概要

１．本報告書の位置づけ

本報告書は、公益社団法人富山青年会議所（以下、富山ＪＣ）と富山市が共催で実施した「とやま未来創造ミーティング２０２０」における参加者の討議結果を報告書としてまとめ、改めて参画意識を高めていただければと思い作成しました。この報告書を見て市民の皆様が、とやまのまちづくりに積極的に参加しようと思っていただける機会になることを願います。

２.「とやま未来創造ミーティング２０２０」開催に至る経緯

このとやまでは、市民がまちづくりに参画する機会は用意されていますが、そのほとんどが既にまちづくりへの当事者意識が高い市民が自主的に参加する機会であり、日ごろまちづくりに対して積極的な行動や提言をしていない市民が集い、まちづくりについて考え意見を交換する機会が少ないという現状があります。それらを踏まえ、私たち富山ＪＣと富山市が連携をとり、市民がまちづくりについて考え、互いの意見を交換する機会が必要と考え、この「とやま未来創造ミーティング２０２０」を開催いたしました。この機会を通じて、市民のまちづくりへの参画意識が高まることで、まちづくりに関心が深まり、まちのために行動する市民が増えることで、市民の意見や考えが地域に影響を与えます。この討議会は、市民の声を行政の施策に反映するための新しい手段として本年で１０回目の開催に至りました。

３.「とやま未来創造ミーティング２０２０」開催概要

１）開催日時

２０２０年2月１５日（土）１０：００～１５：００

２０２０年2月１６日（日）１０：００～１５：００

２）開催場所

富山県民会館４０１号室

３）討議テーマ：「とやまの未来と私」

議題Ｉ）まちづくりってなんだろう？

議題２）自分にできることってなんだろう？

４）参加者抽出方法

住民基本台帳から無作為に抽出した１８歳以上の市民２，４００名にチラシと開催案内状を送付し、参加希望者の中から抽選で、各４０名、２日間合計８０名の参加者を決定いたしました。２日目に２名が都合により欠席したため、１５日４０名、１６日３８名合計７８名の参加となりました。

２０１７年度からの返信数実績一覧

	２０２０年実績		２０１８年実績		２０１７年実績	
参加者定員	８０		１００		５０	
案内発送数	２，４００		３，０００		１，５００	
返信数	５２３	２１．７９％	７７５	２５．８３％	４１５	２７．６６％
参加可能数	１１８	２２．５６％	１３４	１７．２９％	６６	１５．９０％
見学数（希望）	５	０．９６％	７	０．９０％	２	０．４８％
不参加数	４００	７６．５０％	６３４	８１．８０％	３４９	８９．０４％
参加数（結果）	７８		９４		４９	

Ⅰ）２０２０年　参加可能者内訳

年齢	合計	男	女
１０代	１７	７	７
２０代	３３	１５	１８
３０代	２１	８	１３
４０代	１１	５	６
５０代	１８	９	９
６０代	２１	１２	９
合　計	１１８	５６	６２

Ⅱ）２０２０年　参加者内訳

年齢	合計	男	女
１０代	８	６	２
２０代	２１	８	１３
３０代	１７	７	１０
４０代	９	５	４
５０代	１３	７	６
６０代	１０	６	４
合　計	７８	３９	３９

Ⅲ）２０２０年　不参加理由

	理由	人数
参加できません	興味があるが、都合がつかない	１７１
	興味がない	１２１
	計	２９２
その他の理由	育児・出産・介護のため	１０
	家事のため	5
	県外進学のため	２７
	病気・体調不良・入院・入所・通院・障害があるため	１４
	県外在住のため	1
	仕事のため	２６
	受験生のため	7
	県外勤務の為	1
	学校行事のため	4
	現状テーマに対して不勉強なため	4
	家族との予定があるため	3
	定員があり友人と参加でいないため	1
	先約があるため	5
	若い人を優先してほしいため	3
	人前に出るのが苦手なため	1
	計	１１２

5）討議進行方法

1　自己紹介

2　係決め

3　討議の練習

4　議題１　意見抽出・まとめ

5　議題２　意見抽出・まとめ

6　総合まとめ

7　発表

8　投票

Ⅱ　討議結果

テーマ：「とやまの未来と私」

議題Ⅰ）まちづくりってなんだろう？

議題２）自分にできることってなんだろう？

◆　２月１５日まとめ

「まちづくりってなんだろう？」という議題に対してはハード面として若者が集まれる商業施設や専門学校を創立、公共交通機関の充実という意見があり、ソフト面では皆が参加できるコミュニティを新たに作り出すことや魅力あるイベントを開催することが挙げられた。そして「自分にできることってなんだろう？」と議題が変わると、積極的にイベントや行事に自ら参加することや、自らイベントや交流会を開催すること、外出して地元のお店や公共交通機関を利用してお金を使うこと、そしてＳＮＳで発信することが挙げられた。

まちづくりは行政任せにするのではなく、行政による土地・交通というインフラの整備と共に、自分たちがコミュニティづくりやまちに率先して外出し、インフラを活用し、まちづくりを進めていかなければいけない、という集約する発表がおこなわれました。

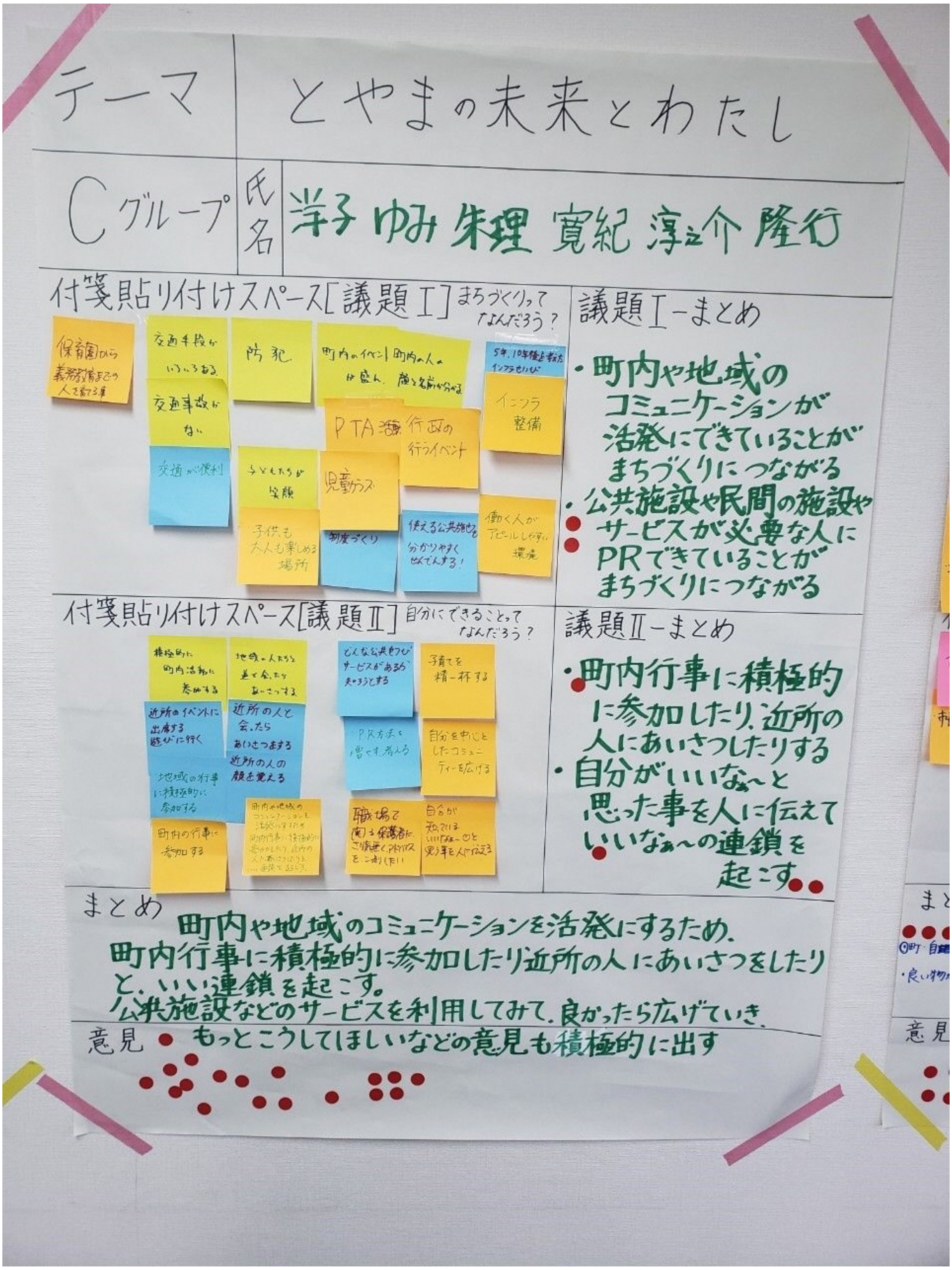
◆　２月１５日　各グループの討議ボード

Aグループ

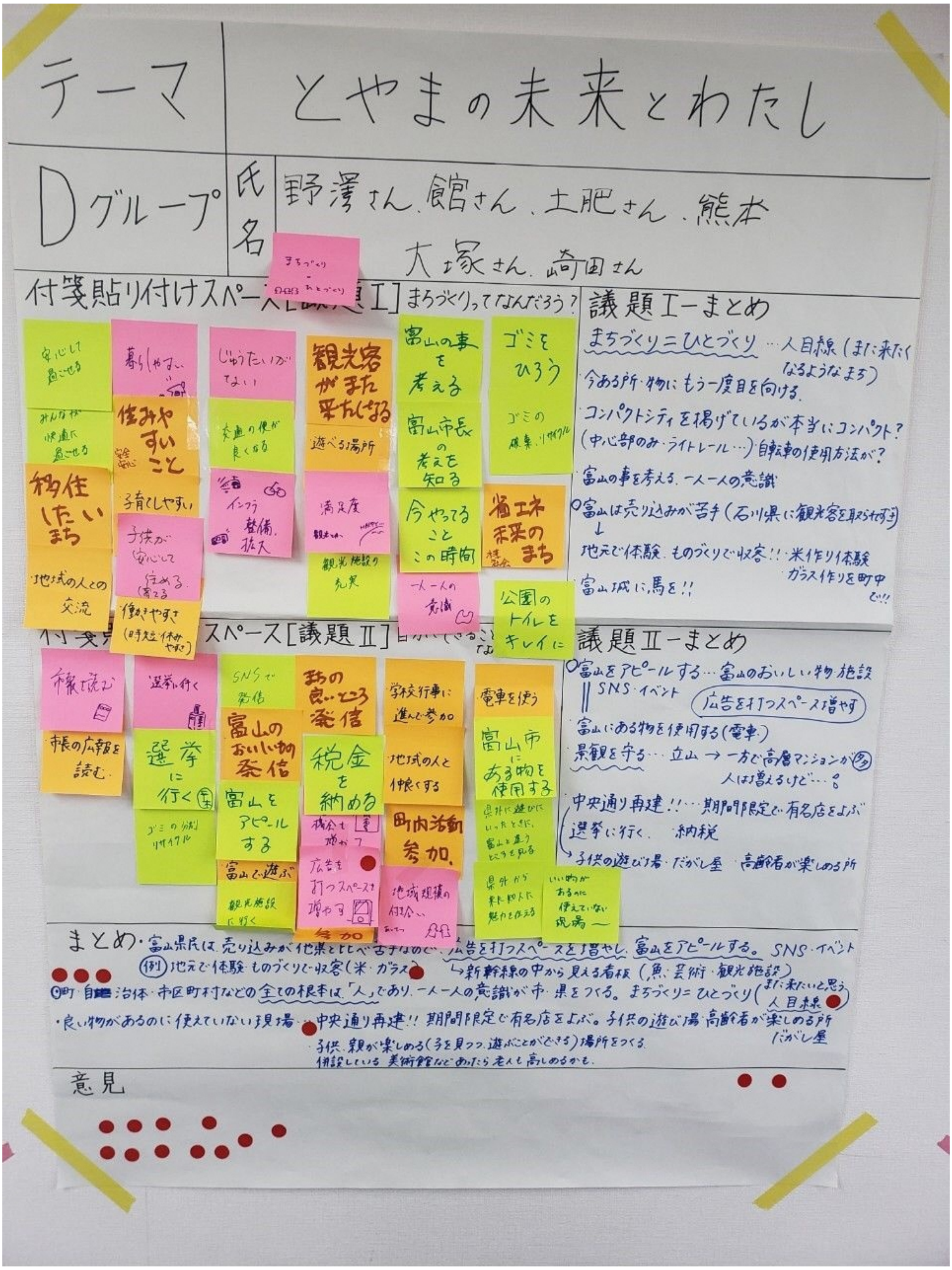
Ｂグループ

テーマ
とやまの未来とわたし
Bグループ
氏名
ぺーちゃん、先生、リリー、おすな、まるちゃん
発表者：マガター
付箋貼り付けスペース[議題Ⅰ]まちづくりってなんだろう？
議題Ⅰ－まとめ
便利さ
コミュニケーション
活性化
市民の意見
地産地消
営業時間
ネットワーク
幸福度
経済効果促進
楽しく
店がすぐ閉まる
観光ルートを作る
交流
遊ぶとこがない
人のためのもの
スポット自転車サブスクリプション（定額制）
スイカ使いたい
テーマを絞る
観光施設を回るバスの運行
買う事っ所が少ない
交通の見直し
観光施設
良い所はたくさんあるのに活かせていない。
交通の便が少し悪く見直せる部分が一部ある
・観光ルートが分かりづらい
・バスが少ない
・道が危ない
・地元の人しか分からない
今ある資源を活用した新しい価値
ラウンドワン
ペットも一緒に
老若男女問わず
宝くじを買う
議題Ⅱ
積極的に政治に関心を持つ。
今回のような意見の場で発信する
お金を使う
情報発信
有給をとる。
楽しむ
高齢者の意見を聞く
公共交通機関を積極的に利用する
息子達を富山に呼び戻す。
声をあげる
Uターンさせます。
意見を言う
アピール SNSで！
県外の友達を観光地に連れて行く
増やす。
まとめ
マガターがまとめます！
意見
ごらくの中身について

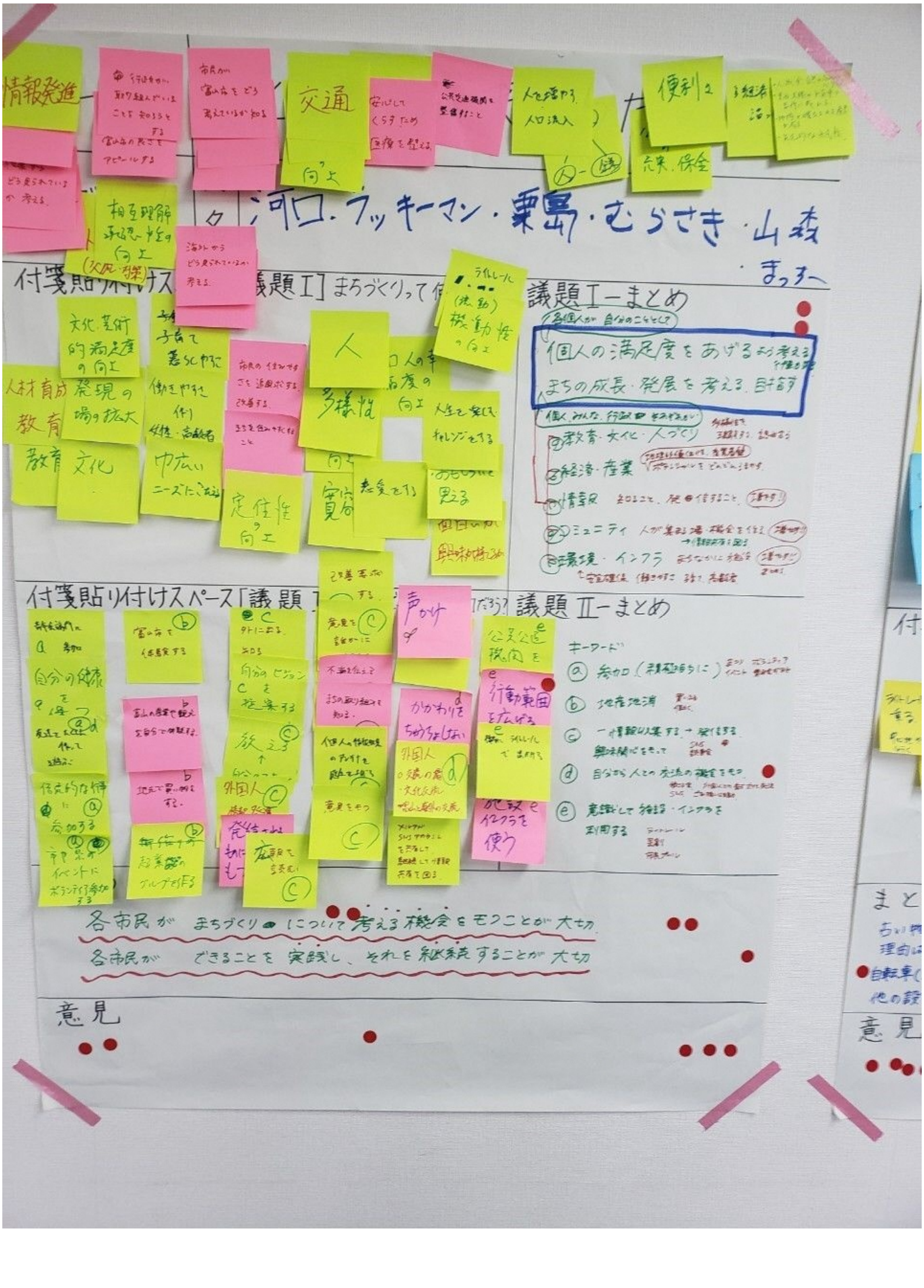
Cグループ


テーマ
とやまの未来とわたし
Cグループ
氏名
洋子 ゆみ 朱理 寛紀 淳之介 隆行
付箋貼り付けスペース[議題I] まちづくりってなんだろう？
防犯
交通事故がない
交通が便利
子どもたちが笑顔
児童クラブ
インフラ整備
議題I－まとめ
・町内や地域のコミュニケーションが活発にできていることがまちづくりにつながる
・公共施設や民間の施設やサービスが必要な人にPRできていることがまちづくりにつながる
付箋貼り付けスペース[議題II] 自分にできることってなんだろう？
議題II－まとめ
・町内行事に積極的に参加したり、近所の人にあいさつしたりする
・自分がいいな～と思った事を人に伝えていいなぁ～の連鎖を起こす。
まとめ
町内や地域のコミュニケーションを活発にするため、
町内行事に積極的に参加したり近所の人にあいさつをしたり
と、いい連鎖を起こす。
公共施設などのサービスを利用してみて、良かったら広げていき、
意見
もっとこうしてほしいなどの意見も積極的に出す

Dグループ

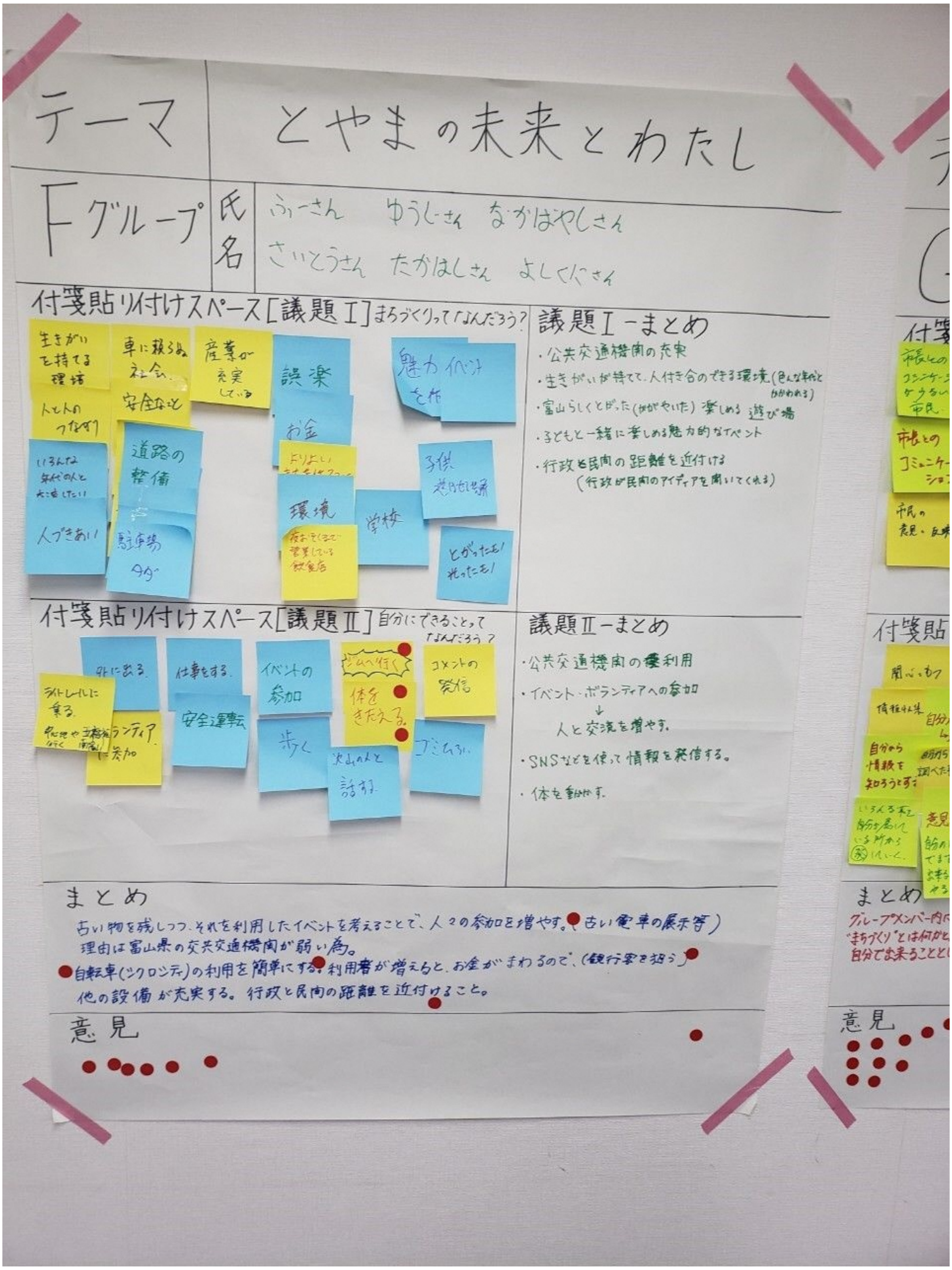

テーマ
とやまの未来とわたし
Dグループ
氏名
付箋貼り付けスペース
まちづくりってなんだろう？
議題Ⅰ－まとめ
まちづくり＝ひとづくり
今ある所・物にもう一度目を向ける
富山の事を考える。一人一人の意識
富山城に馬を!!
観光客がまた来たくなる
富山の事を考える
ゴミをひろう
富山市長の考えを知る
移住したいまち
住みやすいこと
子育てしやすい
今やってることこの時間
省エネ未来のまち
公園のトイレをキレイに
議題Ⅱ－まとめ
広告を打つスペース増やす
富山にある物を使用する(電車)
中央通り再建!!
選挙に行く。納税
税金を納める
選挙に行く
富山をアピールする
富山のおいしい物発信
まちの良いところ発信
富山市にある物を使用する
電車を使う
町内活動参加。
まとめ
意見

Ｅグループ

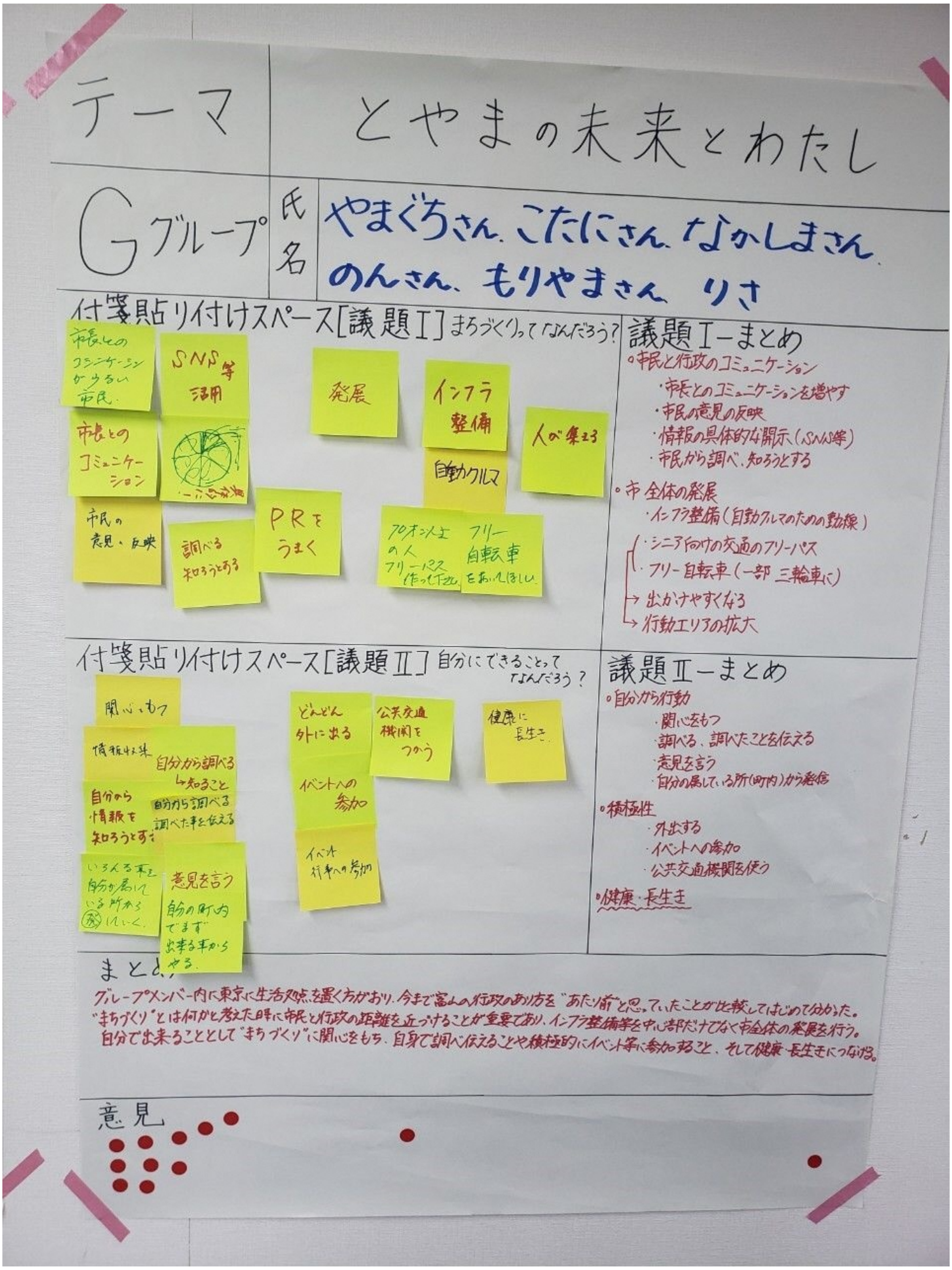


情報発進
交通
河口・ワッキーマン・栗島・むらさき・山森
議題Ⅰ―まとめ
個人の満足度をあげる
まちの成長・発展を考える
議題Ⅱ―まとめ
各市民が まちづくりについて考える機会をもつことが大切
各市民が できることを実践し、それを継続することが大切
意見

Ｆグループ


テーマ
とやまの未来とわたし
Fグループ
氏名
ふーさん　ゆうじさん　なかばやしさん
さいとうさん　たかはしさん　よしくにさん
付箋貼り付けスペース[議題I]まちづくりってなんだろう?
生きがいを持てる環境
車に頼らない社会
産業が充実している
娯楽
魅力イベントを作
人と人のつながり
安全なまち
お金
いろんな年代の人と交流したい
道路の整備
子供遊び場
環境
学校
人づきあい
駐車場タダ
とがったもの!光ったもの!
議題I－まとめ
・公共交通機関の充実
・生きがいが持てて、人付き合いのできる環境
・富山らしくとがった(ハガやいた)楽しめる遊び場
・子どもと一緒に楽しめる魅力的なイベント
・行政と民間の距離を近付ける
(行政が民間のアイディアを聞いてくれる)
付箋貼り付けスペース[議題II]自分にできることってなんだろう?
外に出る。
仕事をする。
イベントの参加
ジムへ行く
コメントの発信
ライトレールに乗る。
ボランティア参加
安全運転
体をきたえる。
歩く
近所の人と話す。
ゴミひろい
議題II－まとめ
・公共交通機関の利用
・イベント・ボランティアへの参加
人と交流を増やす。
・SNSなどを使って情報を発信する。
・体を動かす。
まとめ
古い物を残しつつ、それを利用したイベントを考えることで、人々の参加を増やす。(古い電車の展示等)
理由は富山県の公共交通機関が弱い為。
自転車(シクロシティ)の利用を簡単にする。利用者が増えると、お金がまわるので、
他の設備が充実する。行政と民間の距離を近付けること。
意見

Gグループ



テーマ
とやまの未来とわたし
Gグループ
氏名
やまぐちさん、こたにさん、なかしまさん
のんさん、もりやまさん、りさ
付箋貼り付けスペース[議題Ⅰ] まちづくりってなんだろう？
SNS等活用
発展
インフラ整備
人が集まる
自動クルマ
市長とのコミュニケーション
市民の意見・反映
調べる 知ろうとする
PRをうまく
フリー自転車をおいてほしい
議題Ⅰ－まとめ
○市民と行政のコミュニケーション
・市長とのコミュニケーションを増やす
・市民の意見の反映
・情報の具体的な開示（SNS等）
・市民から調べ、知ろうとする
○市全体の発展
・インフラ整備（自動クルマのための動線）
・シニア向けの交通のフリーパス
・フリー自転車（一部三輪車に）
→出かけやすくなる
→行動エリアの拡大
付箋貼り付けスペース[議題Ⅱ] 自分にできることってなんだろう？
関心をもつ
情報収集
自分から調べる
どんどん外に出る
公共交通機関をつかう
健康に長生き
イベントへの参加
意見を言う
議題Ⅱ－まとめ
○自分から行動
・関心をもつ
・調べる、調べたことを伝える
・意見を言う
・自分の属している所（町内）から発信
○積極性
・外出する
・イベントへの参加
・公共交通機関を使う
○健康・長生き
まとめ
グループメンバー内に東京に生活拠点を置く方がおり、今まで富山の行政のあり方を“あたり前”と思っていたことが比較してはじめて分かった。
“まちづくり”とは何かと考えた時に市民と行政の距離を近づけることが重要であり、インフラ整備等を中心部だけでなく市全体の発展を行う。
自分で出来ることとして“まちづくり”に関心をもち、自身で調べ伝えることや積極的にイベント等に参加すること、そして健康・長生きにつながる。
意見

Hグループ

テーマ
とやまの未来とわたし
Hグループ
氏名
バナ ムラモト テライ
ハルナ フナセ イナガキ
付箋貼り付けスペース[議題Ⅰ]まちづくりってなんだろう？
議題Ⅰーまとめ
学校
医療
働き方
子育てしやすい環境
公共交通機関の発達
きれいな町
公共交通の充実
インフラ整備
公園
まちの活性化
自転車ののりやすい街
都市ガス
個性あふれる店がある街
人が集まる場所づくり
バリアフリー
・インフラの整備
（移動しやすい街）
・生活環境の改善
（助成金・賃金・働き方）
・街の魅力（公園・イベント）
・個人の意識（自分の町）
付箋貼り付けスペース[議題Ⅱ]
議題Ⅱーまとめ
助成金を知る
地元誌を読む
公共交通を使う
イベントに参加する
今ある制度を知る
魅力の情報発信（SNS）
公共交通を使う
アプリ
SNSでの情報発信
まち歩きをする
富山市で遊ぶ
毎日1個楽しいことを見つける
子どもを増やす
他の街の良い所を学ぶ
外への魅力の発信アピール
選挙に行く
行政への提言提案
車の運転
・行政への提言提案
・制度を知り、発信する
・今ある施設を利用
・車の運転に気をつける（マナー）
・選挙に行く
・世代間の交流
まとめ
10年後より住みやすい楽しい街にするために
意見

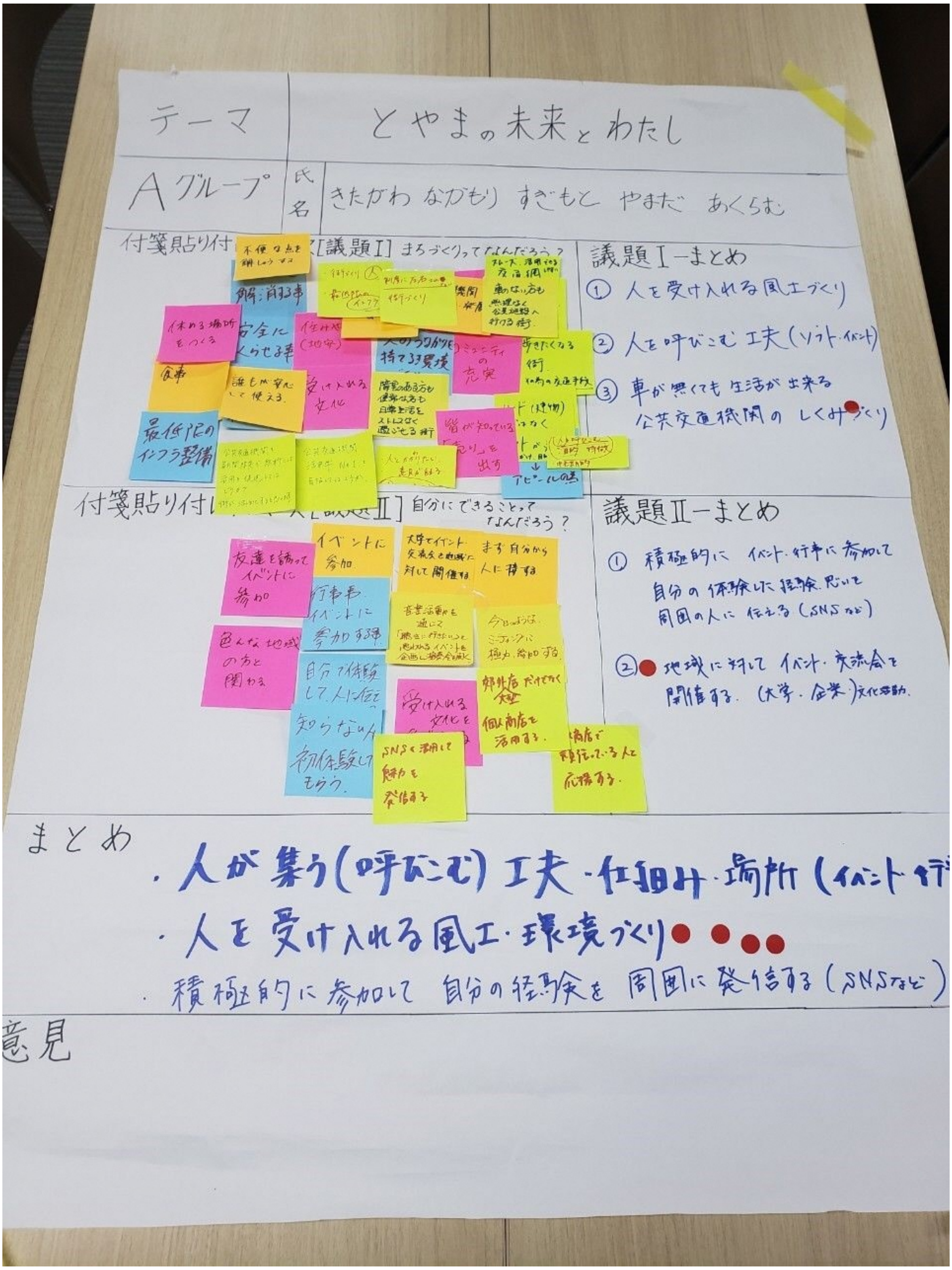
◆　２月１６日まとめ

「まちづくりってなんだろう？」という議題に対して、１５日同様ハード面としては公共交通機関が不便や商業施設が少ないという意見があったが、富山は魅力のＰＲ不足、市民と行政のコミュニケーションが不足しているという意見もあった。そして「自分にできることってなんだろう？」と議題に対しては、地域行事やイベントごとに関心を持ち、まずは自分から参加すること、そしてＳＮＳなどで情報発信を行い地域の魅力を発信することができるのではないかという意見があった。

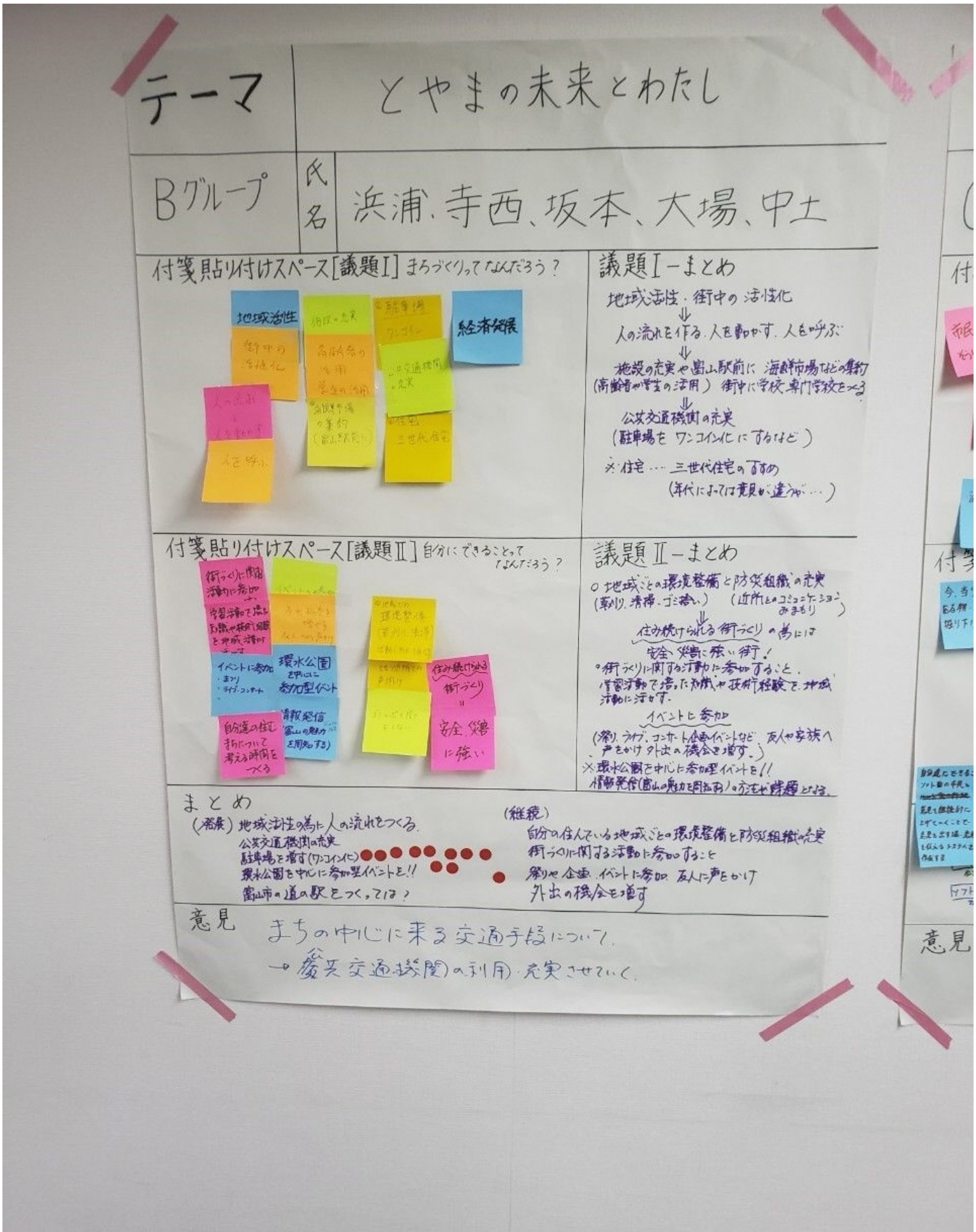
まちづくりは行政任せにするのではなく、行政による土地・交通というインフラの整備と共に、自分たちが意見を出し合い、事業やイベントに率先して参加し、ＳＮＳ等で発信することが大切である、という発表がおこなわれました。

◆　２月１６日　各グループの討議ボード

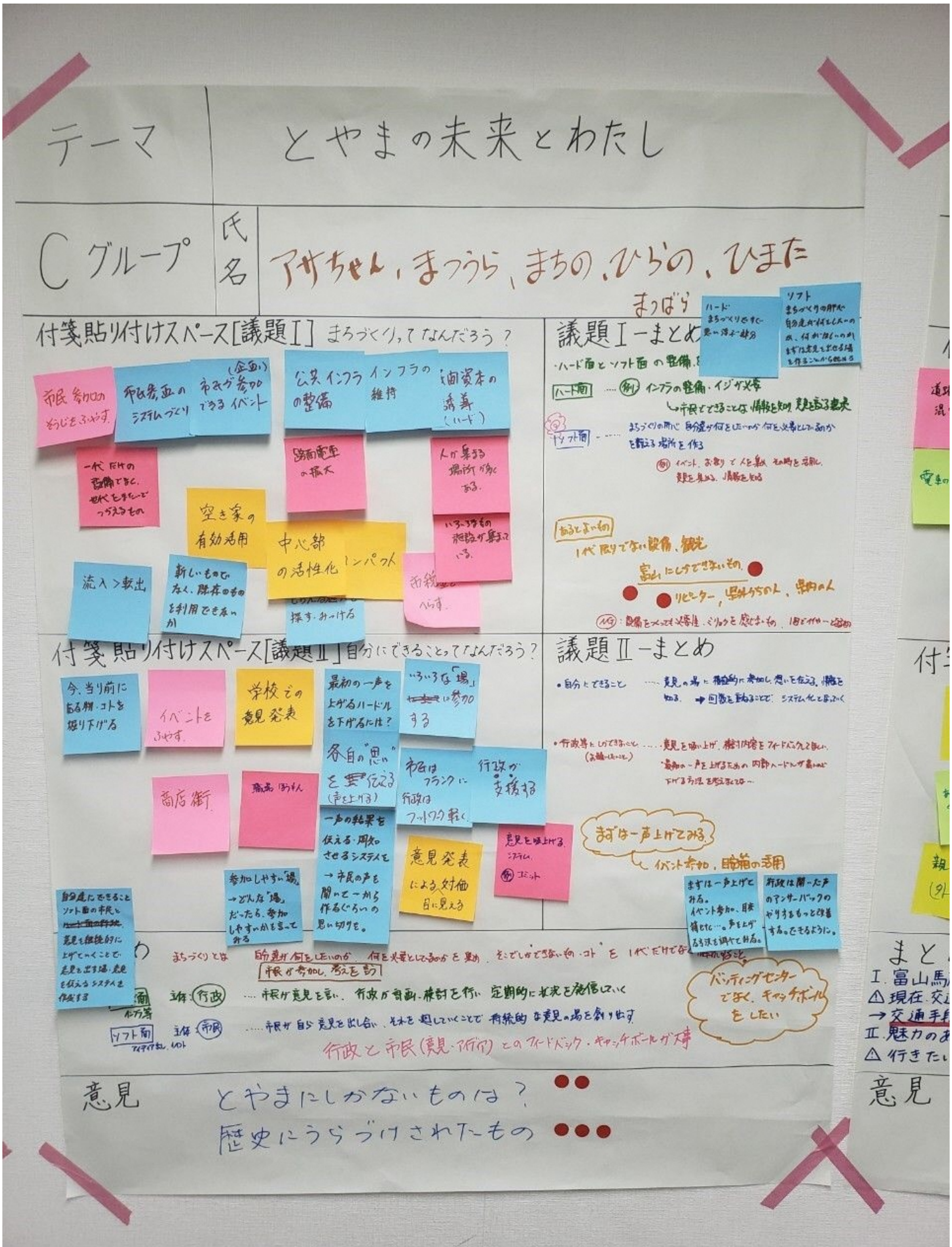
Ａグループ



Bグループ

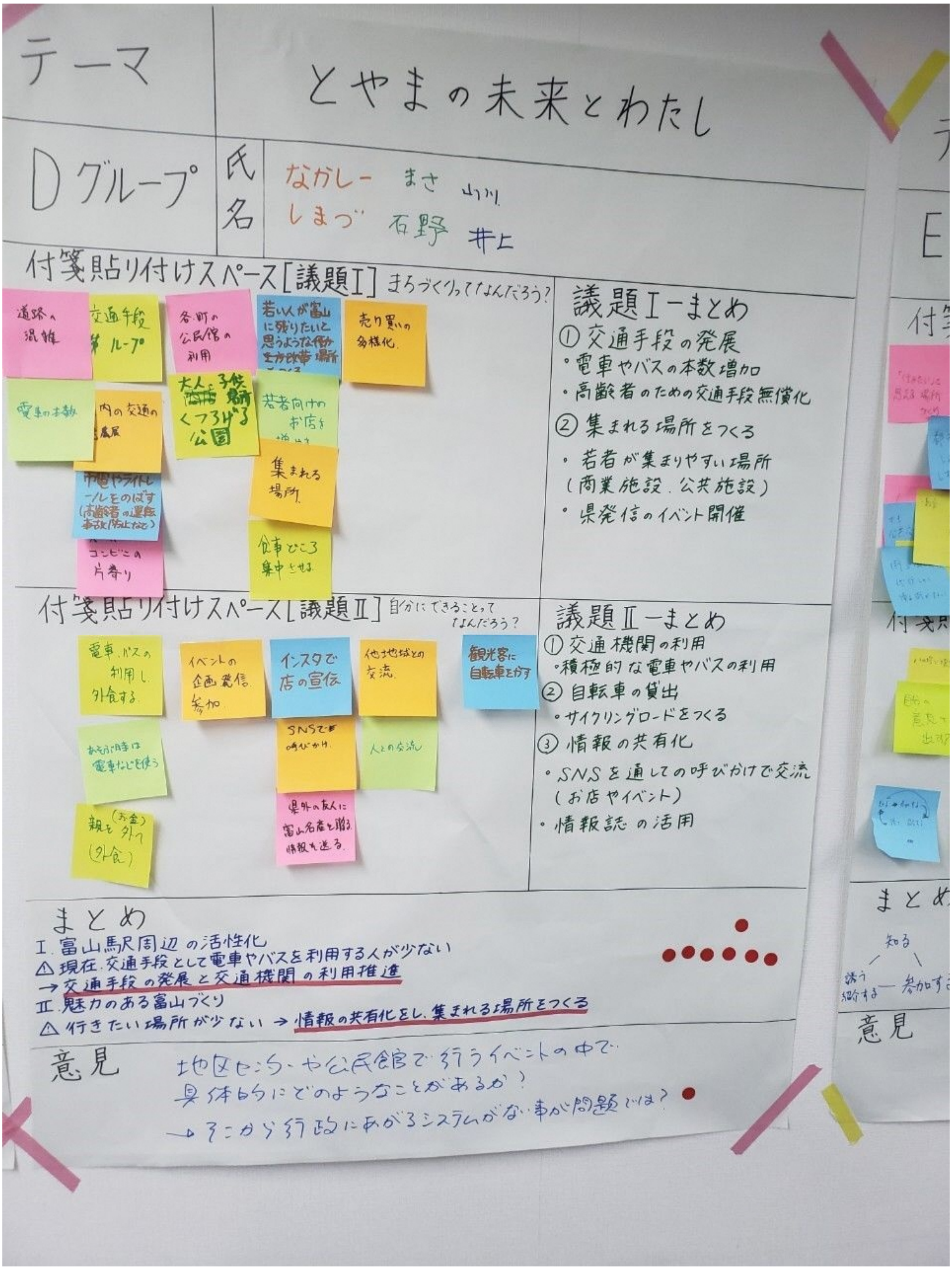

テーマ
とやまの未来とわたし
Bグループ
氏名
浜浦、寺西、坂本、大場、中土
付箋貼り付けスペース[議題Ⅰ] まちづくりってなんだろう？
地域活性
経済発展
議題Ⅰ－まとめ
地域活性・街中の活性化
人の流れを作る．人を動かす．人を呼ぶ
施設の充実や富山駅前に 海鮮市場などの集約
(高齢者や学生の活用) 街中に学校・専門学校をつくる
公共交通機関の充実
(駐車場を ワンコイン化にするなど)
※住宅 … 三世代住宅のすすめ
(年代によっては意見が違うが…)
付箋貼り付けスペース[議題Ⅱ] 自分にできることってなんだろう？
イベントに参加 ・まつり ・ライブ・コンサート
環水公園を中心に参加型イベント
情報発信 (富山の魅力を周知する)
自分達の住むまちについて考える時間をつくる
住み続けられる街づくり = 安全、災害に強い
議題Ⅱ－まとめ
○地域ごとの環境整備と防災組織の充実
(草刈り、清掃、ゴミ拾い) (近所とのコミュニケーション みまもり)
住み続けられる街づくりの為には
安全、災害に強い街！
○街づくりに関する活動に参加すること．
学習活動で培った知識や技術経験を地域活動に活かす．
イベントに参加
(祭り、ライブ、コンサート企画イベントなど、友人や家族へ声をかけ外出の機会を増す．)
※環水公園を中心に参加型イベントを!!
情報発信(富山の魅力を周知する)の方法が課題となる．
まとめ
(発展) 地域活性の為に人の流れをつくる．
公共交通機関の充実
駐車場を増す(ワンコイン化)
環水公園を中心に参加型イベントを!!
富山市の道の駅をつくっては？
(継続)
自分の住んでいる地域ごとの環境整備と防災組織の充実
街づくりに関する活動に参加すること
祭りや企画、イベントに参加．友人に声をかけ
外出の機会を増す
意見
まちの中心に来る交通手段について．
→公共交通機関の利用・充実させていく．

Cグループ



テーマ
とやまの未来とわたし
Cグループ
氏名
アサちゃん、まつうら、まちの、ひらの、ひまた
まつばら
議題Ⅰ－まとめ
空き家の有効活用
中心部の活性化
インパクト
流入＞転出
路面電車の拡大
付箋貼り付けスペース[議題Ⅱ] 自分にできることってなんだろう？
議題Ⅱ－まとめ
イベントをふやす
学校での意見発表
商店街
意見発表による対価
まずは一声上げてみる
イベント参加、目安箱の活用
バッティングセンターでなく、キャッチボールをしたい
行政と市民(意見・アイデア)とのフィードバック・キャッチボールが大事
意見
とやまにしかないものは？
歴史にうらづけされたもの

Dグループ

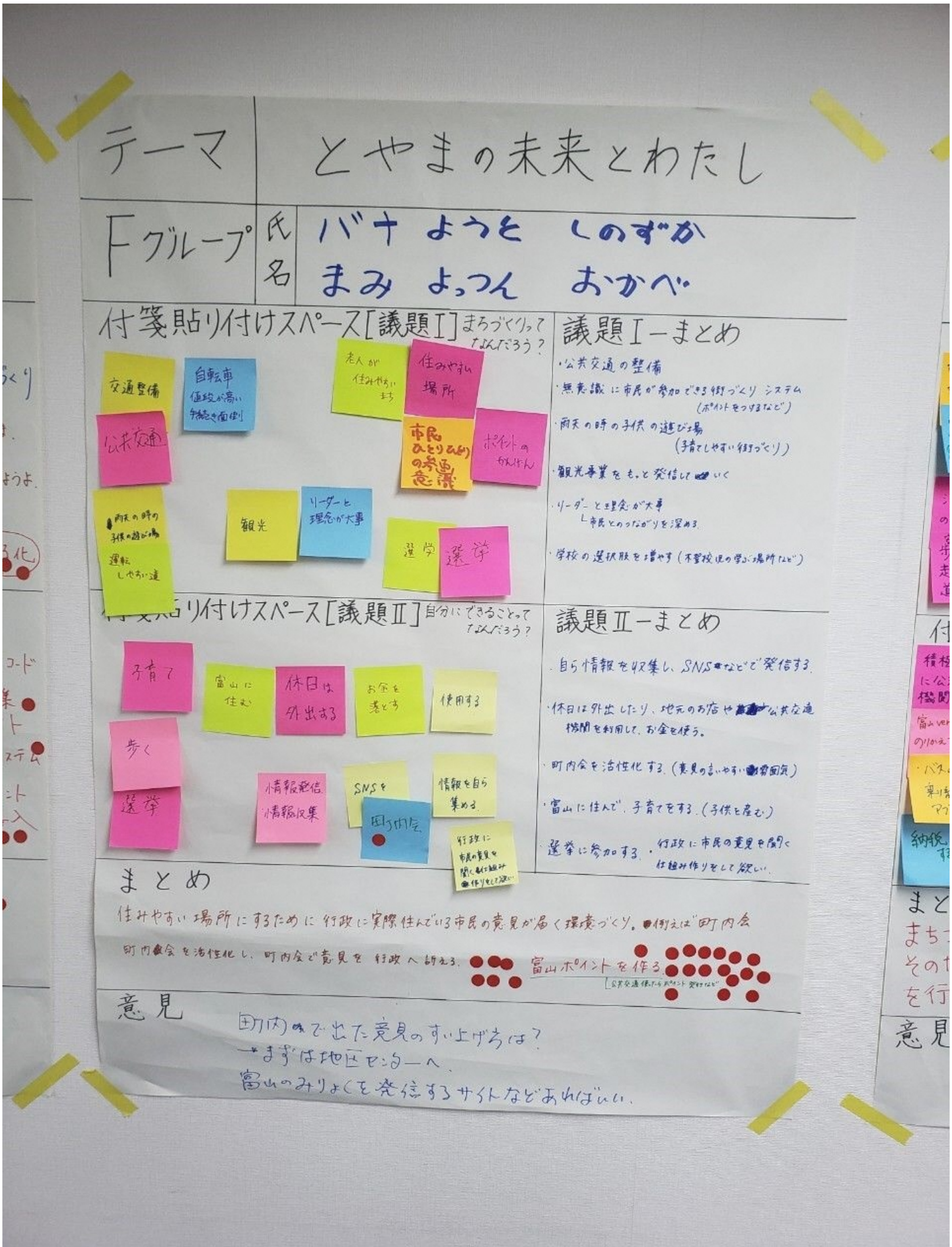


テーマ
とやまの未来とわたし
Dグループ
氏名
ながしー　まさ　山川
しまづ　石野　井上
付箋貼り付けスペース[議題Ⅰ] まちづくりってなんだろう？
道路の混雑
交通手段 ループ
各町の公民館の利用
若い人が富山に残りたいと思うような
売り買いの多様化
電車の本数
内の交通の
大人と子供がくつろげる公園
若者向けのお店を
集まれる場所
ルをのばす (高齢者の運転事故防止など)
コンビニの片寄り
食事どころ集中させる
議題Ⅰーまとめ
① 交通手段の発展
・電車やバスの本数増加
・高齢者のための交通手段無償化
② 集まれる場所をつくる
・若者が集まりやすい場所
(商業施設、公共施設)
・県発信のイベント開催
付箋貼り付けスペース[議題Ⅱ] 自分にできることってなんだろう？
電車、バスの利用し、外食する。
イベントの企画、発信、参加
インスタで店の宣伝
他地域との交流。
観光客に自転車を貸す
電車などを使う
SNSで呼びかけ。
人との交流
親を(お金)外へ(外食)
県外の友人に富山名産を贈る、情報を送る。
議題Ⅱーまとめ
① 交通機関の利用
・積極的な電車やバスの利用
② 自転車の貸出
・サイクリングロードをつくる
③ 情報の共有化
・SNSを通しての呼びかけで交流
(お店やイベント)
・情報誌の活用
まとめ
Ⅰ. 富山駅周辺の活性化
⚠ 現在、交通手段として電車やバスを利用する人が少ない
→ 交通手段の発展と交通機関の利用推進
Ⅱ. 魅力のある富山づくり
⚠ 行きたい場所が少ない → 情報の共有化をし、集まれる場所をつくる
意見
地区センターや公民館で行うイベントの中で
具体的にどのようなことがあるか？
→ そこから行政にあがるシステムがない事が問題では？

Eグループ

テーマ
とやまの未来とわたし
Eグループ
氏名
大崎さん、うえださん、はたけやまさん、しまださん。
西島たくと
議題Ⅰ－まとめ
高齢者、子ども、障害者
だれもがみんなで作り上げるまちづくり
みんなが参加できる
みんなが助け合える
みんながつながり合う
・ボランティア募集まとめサイト
・インターネットや、スーパー等に設置した目安箱から意見を募集し、投票数により実現
広報とやま
もっとおしゃれにしようよ
見える化
議題Ⅱ－まとめ
知る
参加する
誘う
紹介する
習慣づけ
地域行事
ボランティア
イベント
SNS発信
・回覧板 QRコード
・ボランティア募集まとめサイト
・目安箱 投票システム
・住民税ポイント導入
SNS
まとめ
みんなで作り上げるまちづくり
→ 見える化（議題Ⅰ－まとめ）
→ 提案（議題Ⅱ－まとめ）
意見
具体的に助け合いとは？
ボランティア、回覧板やQRコードの活用、住民税ポイント。

Ｆグループ


テーマ　とやまの未来とわたし
Fグループ
氏名
バナ　ようと　しのずか
まみ　よっつん　おかべ
付箋貼り付けスペース[議題Ⅰ]まちづくりってなんだろう？
交通整備
自転車 値段が高い 手続き面倒
老人が住みやすいまち
住みやすい場所
公共交通
市民ひとりひとりの参画意識
ポイントのかんけん
観光
リーダーと理念が大事
運転しやすい道
選挙
議題Ⅰ－まとめ
・公共交通の整備
・無意識に市民が参加できる街づくり システム（ポイントをつけるなど）
・雨天の時の子供の遊び場（子育てしやすい街づくり）
・観光事業をもっと発信していく
・リーダーと理念が大事 └市民とのつながりを深める
・学校の選択肢を増やす（不登校児の学ぶ場所など）
付箋貼り付けスペース[議題Ⅱ]自分にできることってなんだろう？
子育て
富山に住む
休日は外出する
お金を落とす
使用する
歩く
選挙
情報発信 情報収集
SNSを
町内会
情報を自ら集める
議題Ⅱ－まとめ
・自ら情報を収集し、SNSなどで発信する。
・休日は外出したり、地元のお店や公共交通機関を利用して、お金を使う。
・町内会を活性化する。（意見の言いやすい雰囲気）
・富山に住んで、子育てをする。（子供を産む）
・選挙に参加する。・行政に市民の意見を聞く仕組み作りをして欲しい。
まとめ
住みやすい場所にするために行政に実際住んでいる市民の意見が届く環境づくり。例えば町内会
町内会を活性化し、町内会で意見を行政へ訴える。
富山ポイントを作る。
意見
町内会で出た意見のすい上げ方は？
→まずは地区センターへ。
富山のみりょくを発信するサイトなどあればいい。

Gグループ

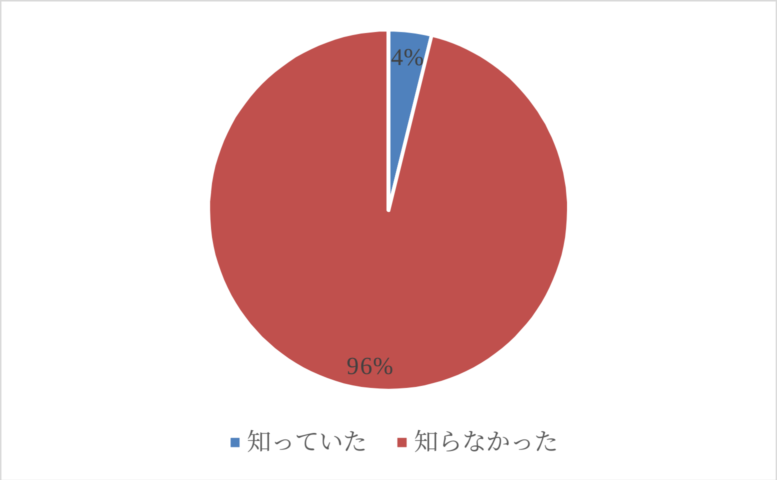
テーマ
とやまの未来とわたし
Gグループ
氏名
中島・高柳・ささき
つねだ・よねだ
議題Ⅰーまとめ
①土地・交通の整備
・公共交通機関の充実
・安全な歩道(自転車道)の整備
・市街化調整区域(住宅・農地)
②人と交流の充実化
・定期的に会えるコミュニティーの開設
→廃校・シャッター街の有効活用
→大人の部活動・サークルづくり(例:ママスキー)
・まちの人たちとの交流
→行事(例:祭り・体協・PTA)
議題Ⅱーまとめ
①コミュニティーづくり
・イベントや行事に積極的に参加する
(例:町内会・祭り・掃除・住民運動会)
・結婚や親と同居
・相互に助け合う
②情報発信・交換
・アプリをつくる
(富山の情報や総合的な交通情報が全てわかる)
・富山の良い所を発信する
(SNS、YouTube、アプリ)
・地域の人との雑談
まとめ
まちづくりとは、土地・交通の整備を行い、人と交流の充実化を図ること、
そのために自分ができることは、コミュニティーづくりをし、情報発信・交換
を行うことだと考える。
意見
大人の部活動の内容を知りたい。
カレー部やプラモデル部などサークル的なもの。
そういったアプリなどあればよい

Hグループ

テーマ
とやまの未来とわたし
Hグループ
氏名
やました 田中 熊本 塚原 はしば そうけたに
付箋貼り付けスペース[議題Ⅰ]
議題Ⅰ－まとめ
○ハコとコウッウのバランス
○情報発信の工夫
情報の取り易さ
○各世代にミリョクある
イベントがある
暮らしやすい
楽しい ワクワクする
施設充実
活力がある
人集め
イベント充実（各世代）
学生のUターン
趣味の集まりが多い
広報誌 HPの充実
付箋貼り付けスペース[議題Ⅱ]
議題Ⅱ－まとめ
○情報の共有：口コミ，周りの人を誘う
○行動：自分の事だと思う
興味を持つ
意見を出す
事業として結びつける
（補助金・イベント）
事業と結びつける
情報拡散 共有
楽しい事を周りに話す。（イベント等）
足を運んでみる。
・町づくりは"人"から。
・行政まかせではなく、最終的に町は、自分達でつくる
・地元愛をもって、あたりまえをあたりまえと考えず、自信をもって すばらしさを自ら発信
いく行動力を持つ
このような集まりがまち作りの原点…。
意見
富山と愛知の交通事情のちがい。

「とやま未来創造ミーティング２０２０」参加者アンケート結果

１（ア）案内が来た時点で、「当討議会」をご存知でしたか？



- 知っていた　　３票
- 知らなかった　　７５票

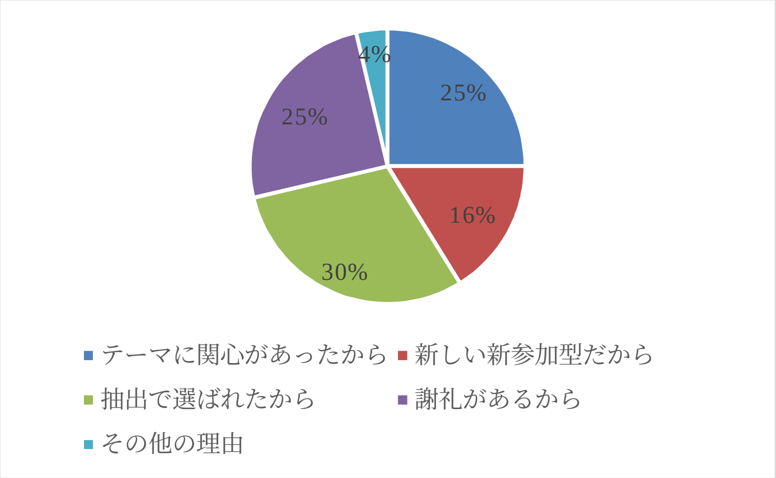
１（イ）知っていた方は、何でご存知でしたか？

- マスコミを通して　　０票
- 当討議会のチラシを見て　　０票
- 行政の広報で　　２票
- 以前に参加した知人を通して　　２票
- その他の理由　　１票

その他の理由

・退職前は市の職員だったため。

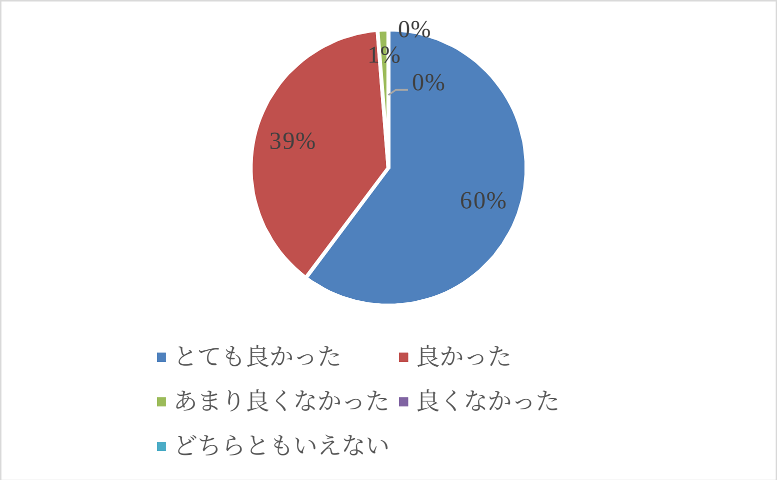
２　参加の動機に関してお聞かせください。（複数回答可）



・	テーマに関心があったから	３４票
・	新しい市民参加型だから	２２票
・	抽出で選ばれたから	４１票
・	謝礼があるから	３４票
・	その他の理由	５票

【その他の意見】
・面白そうだったから。
・市民の勤めだと考えるから。
・人とかかわれる良い機会だったから。
・わからなくても行きやすい雰囲気を感じたから。

３（ア）参加された感想をお聞かせください。



・	とても良かった	４７票
・	良かった	３０票
・	どちらともいえない	１票
・	あまり良くなかった	０票
・	良くなかった	０票

（イ）（ア）で選ばれた理由をお聞かせください。

（とても良かった意見について）

・年代・職業問わず、さまざまなバックボーンを持つ方々と意見を交換することができ、嬉しかった。
・改めて富山のことを考える機会になりよかったから。
・多くの方々がそれぞれ色々な考えを持ち、若い方も含めてしっかりしているので。このミーティングはこれで終わりではなく活かしてほしいと思うから。
・富山をより良いものにするために多くを考え、もっと地元が好きになったから。
・みなさんの意見を聞いて自分も何かしなければいけないと一歩前向きになれたから。

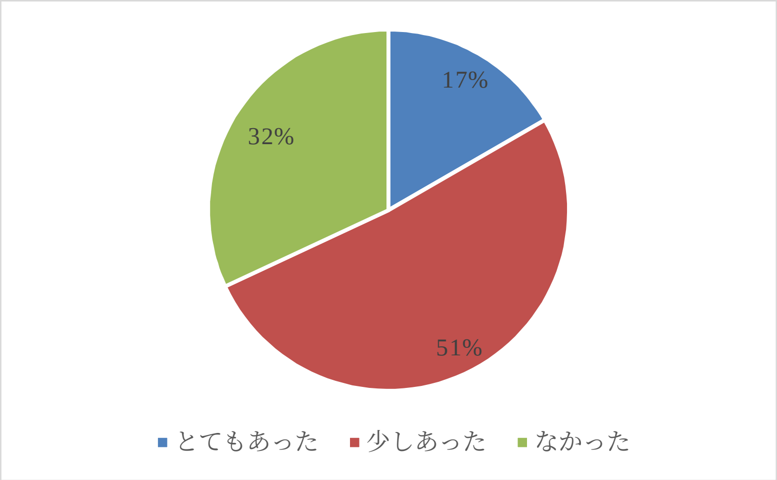
（良かった意見について）

・普段考えないようなことを考える機会になったので。
・普段交流のない世代、お仕事の方々と議題のみでなく世間話ができ有意義であった。
・自分が討論できるか少し不安だったが、共感を得られて話が広がったから。不便だと思っていたことも改善策を教えてもらい、新しいことを知れたから。
・各グループの意見を聞くことができたため。
・お金目当てで参加したが驚くほどの意見があり交流もでき、最後に発表を通していい。経験ができたから。

（どちらともいえない意見について）

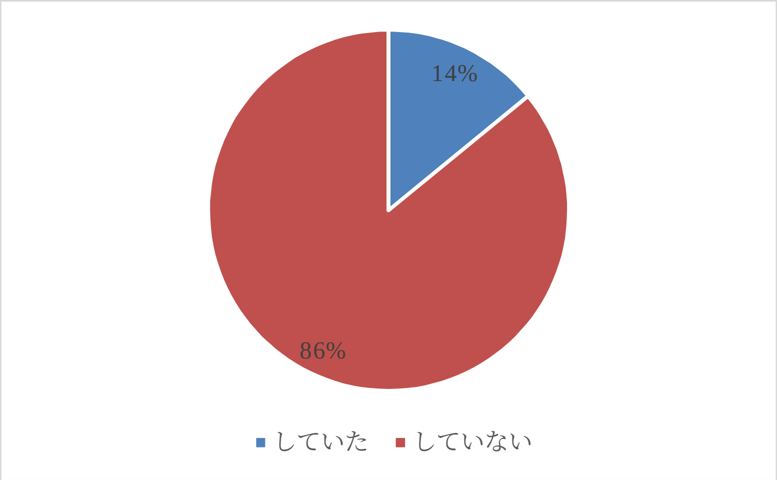
・発表の結果が今後に反映される気がしないため。

４（ア）この討議会に参加する前、「まちづくり」に対して興味がありましたか？



・　とてもあった　　　　　　　　　　　１２票
・　少しあった　　　　　　　　　　　　３７票
・　なかった　　　　　　　　　　　　　２３票
・

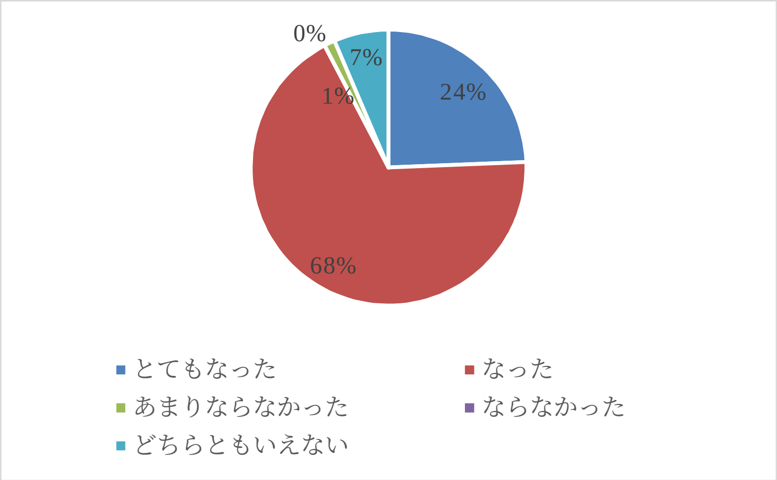
（イ）　この討議会に参加する前、「まちづくり」に関わる活動をされていましたか？



・　していた　　　　　　　　　　　　　１１票
（行政側として、環境保護活動、音楽活動、ボランティア、地域交流
越中八尾おわら風の盆会、町内会活動等 ）

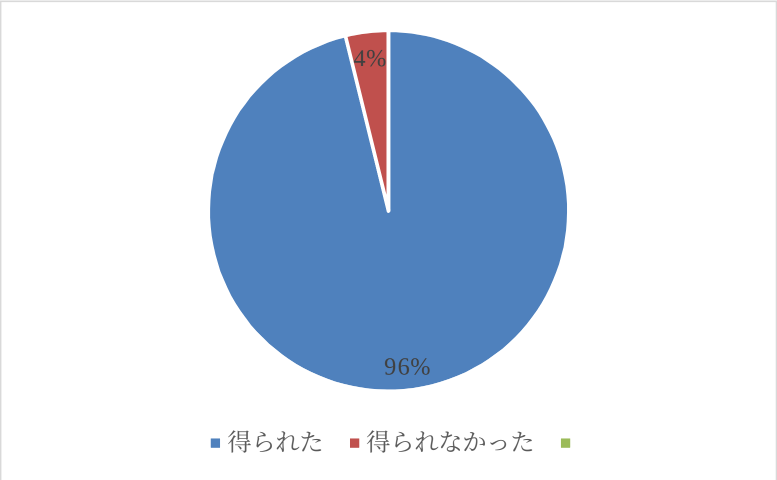
・　していない　　　　　　　　　　　　６７票

５（ア）討議会に参加して、これからも「まちづくり」に参加していこうという気持ちになりましたか？



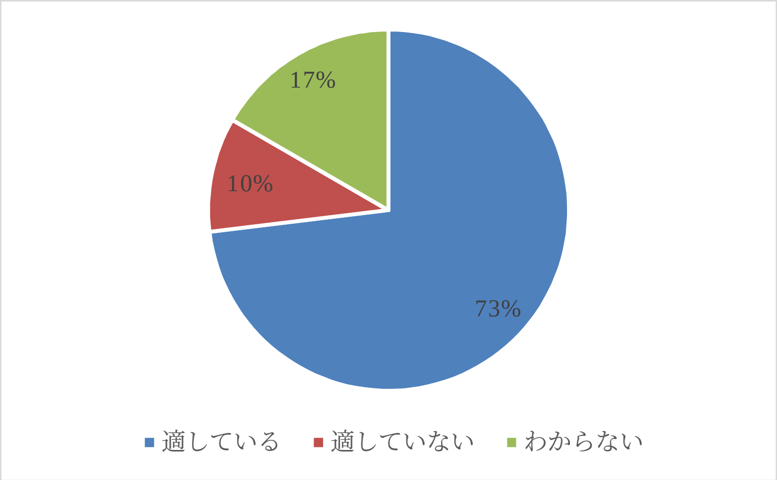
・　とてもなった　１９票
・　なった　５３票
・　どちらともいえない　５票
・　あまりならなかった　１票
・　ならなかった　０票

（イ）　この討議会に参加して「まちづくり」に参加しているという実感を得られましたか？



・　得られた　７５票
・　得られなかった　３票

６　この討議会は市民の声を行政に伝える手法として適していると思いますか？また、意見があればお聞かせください。

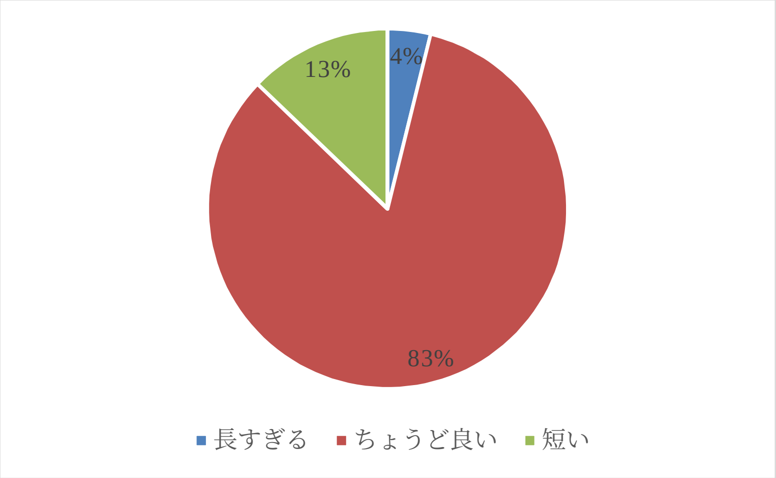


・　適している　　５７票
・　適していない　　８票
・　わからない　　１３票

（意見）

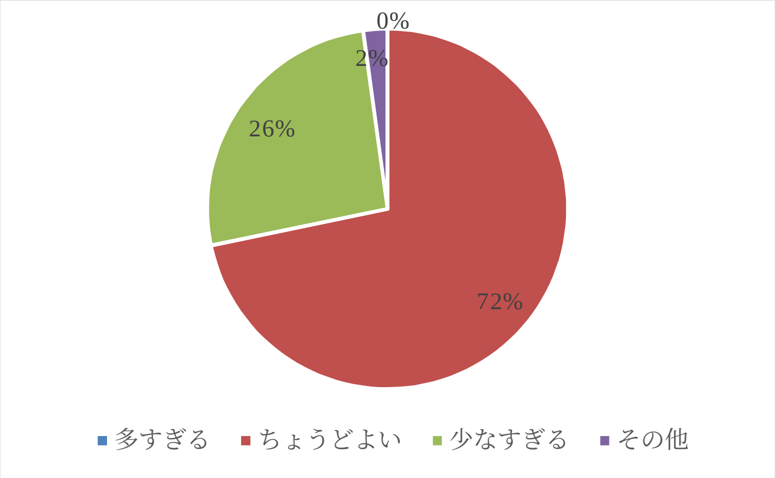
・地区センターから行政に意見を伝えることも知りました。参加してよかったです。
・一部の人の意見だけになるので多数の意見を可能なだけ取り入れ、本当に市民がもとめることをしてほしい。
・討議に市の方も参加して話し合えるとよいと思った。
・テーマをもっと絞り込んでいればゴールが見えやすく深堀できた。
要望を主張することが多かった。
・フィードバックをできれば実感ができる。
・意見を出す場としては正しいが、出た意見がどのように反映されるのかを知りたい。
・話し合った内容が市へ届くのか不明である。
・適してはいるがもっと気軽に放せる場が必要と考える。町内会で取りまとめて市に提出し、市がフィードバックすること。
・テーマがざっくりしていたため、もう少し具体的な方がよかったと思う。
・どのように取りまとめて行政に伝わり、どのような結果を生み出せたのかを知れればいいと思った。
・病気やけが等でこの場に参加できない人の意見が一番重要じゃないかと考えます。
・市民同士の意見交換の場がまちづくりになると思うから。

7　討議の時間についてお聞かせください。



- 長すぎる　　３票
- ちょうどよい　　６５票
- 短い　　１０票

8　情報提供の量についてお聞かせください。



- 多すぎる　　３票
- 少なすぎる　　０票
- ちょうどよい　　６８票
- その他　　７票

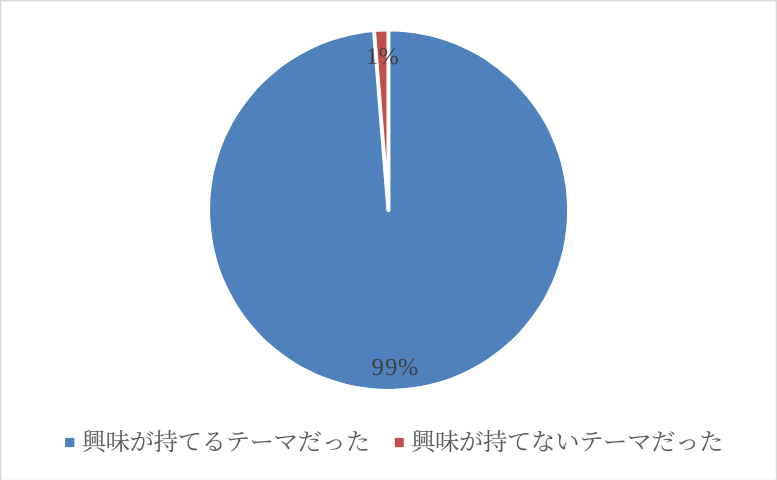
（意見）

・富山市からの要覧などを使用して情報提供してほしかった。

・討議の内容が広範囲なので論点がぼやけた。

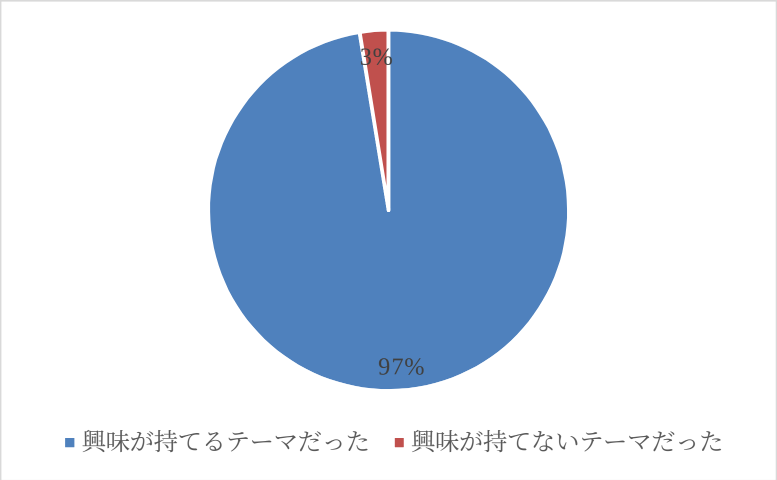
９　討議テーマについてお聞かせください。

（ア）討議１について



・　興味が持てるテーマだった　　　　　　　　７７票
・　興味が持てないテーマだった　　　　　　　　１票

（イ）討議２について



・　興味が持てるテーマだった　　　　　　　　７６票
・　興味が持てないテーマだった　　　　　　　　２票

（ウ）話し合ってみたいテーマがあれば、ご記入ください。

・どんなイベントがあったらいいんだろう？

・前年度実施した結果と、その後のフィードバックに対して次のことをどう考えるか
どうすれば希望するまちづくりに向けて進むか？

・子育てについて（放課後の過ごし方）

・介護について

・富山の景観（立山の見える街）について

・ジェンダーについて

・ＳＤＧｓ

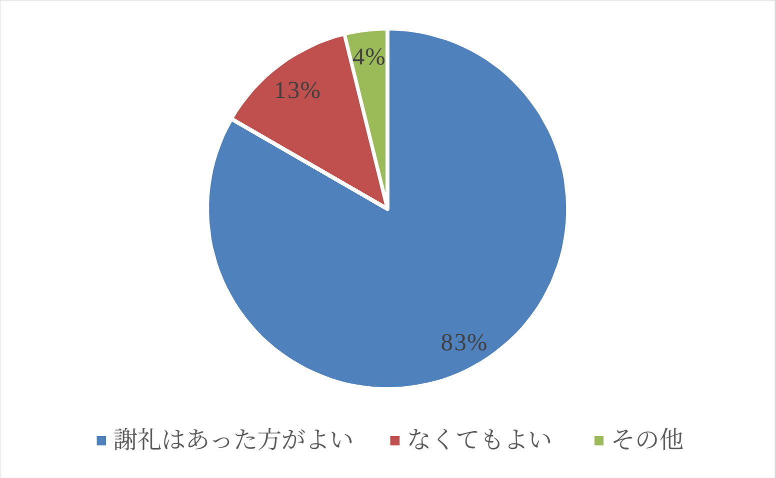
・若者が富山から出て都会に就職、結婚するなどの「富山離れ」を防ぐ方法

・子育て支援の仕方、あり方

・医療機関への通院方法の改善

・経済の発展

１０（ア）謝礼についてお聞かせください。



・	謝礼はあった方がよい	６５票
・	なくてもよい	１０票
・	その他	３票

（意見）

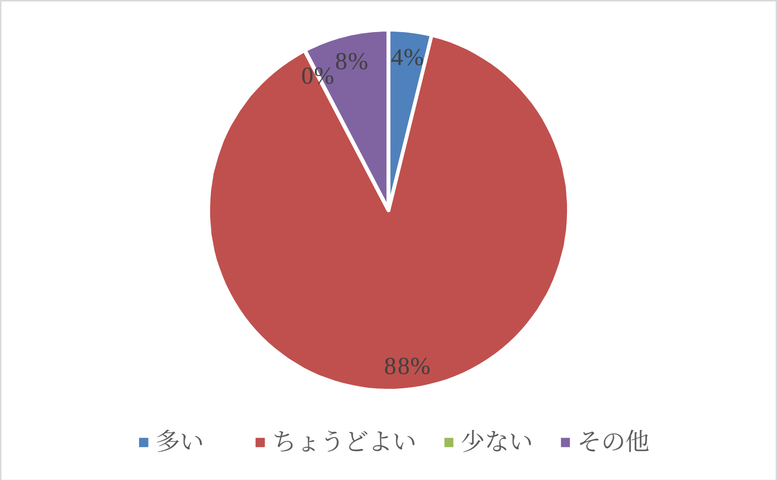
・どちらでもよい。

・どちらでもよい、感心があるテーマなら参加したい。

・参加するきっかけになる。

・出席率の向上につながると思う。

（ア） 謝礼金額についてお聞かせください。



・　多い	３票
・　少ない	０票
・　ちょうどよい	６９票
・　その他	６票

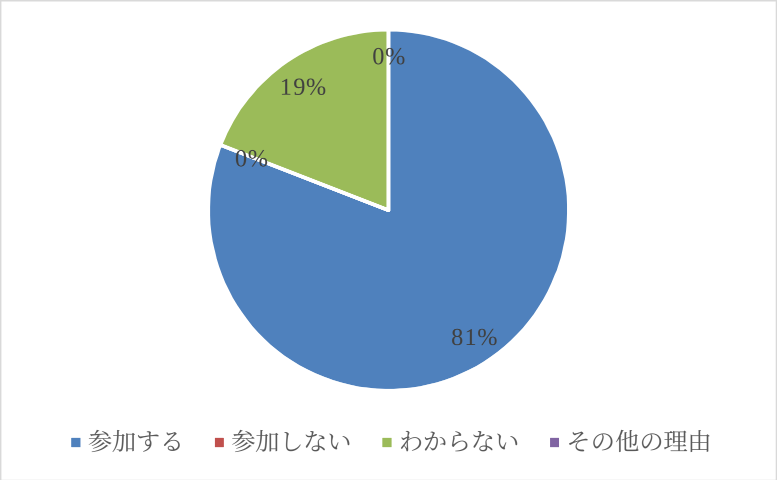
（意見）

・３，０００円くらいでもいいかと思う。

・なくてもいいと思う。

・実費精算（交通費）でいいと思う。

１１　以後、同じような企画の参加要請があった場合、参加しますか？



・　参加する	６０票
・　参加しない	０票
・　わからない	１５票
・　その他の理由	０票

（その他の理由）

・富山のまちをよりよくしたいので参加します。
・子供が小さいため託児所があれば参加したいです。
・タイミングが合えば。
・内容、テーマによる。

１２　本日の討議会を通して感じた事やご意見等を自由にご記入ください。

・身近ではあるがあまり真剣に考えないテーマだったので参加してよかった。

・本日討議したことが、少しでも形になれば参加した意味があったと思う。

・もう少し具体的な取り組みに結び付くような議論を、こういう場から厳選した人で行いたいと思います。

・今回の討議が面白かったで終わらないように頑張っていきたいと思います。

・普段考えれないことを考えれました。また、市政に参加できた気がしました。

・非日常の貴重な時間であり、あっという間に終わりました。

・多様な意見を聞き、新たな気付きも持つことができた。今後は実践してみたい。

・テーマが膳としていた気がした。意見がまとまりにくく主旨とずれると感じた。

・あまり触れることのなかった富山の環境について考えることができ楽しかった。

・良い取り組みだと思います。長く続けてほしい。

・主体的に話すこと、聴くことができてよかった。

令和２年１月吉日

各　位

富山市長　森　　　雅　志

公益社団法人富山青年会議所
理 事 長 渡　辺　　　光

「とやま未来創造ミーティング２０２０」の開催について（ご案内）

日頃から、市行政について格別のご理解をいただき、厚くお礼申し上げます。

このたび、富山市と公益社団法人富山青年会議所の共催により、「とやま未来創造ミーティング２０２０」を開催いたします。

「とやま未来創造ミーティング２０２０」は、まちづくりの課題や地域の身近なテーマについて討議していただく、市民主役のまちづくりの実現に向けた新しいスタイルの会議です。

今年のメインテーマは「とやまの未来とわたし」としたうえで、討議テーマは「まちづくりってなんだろう？」、「自分にできることってなんだろう？」を予定しております。

皆様には、同封しましたチラシをご覧頂き、是非ご参加くださいますよう宜しくお願いいたします。出欠につきましては、同封のはがきにて１月３１日（金）までにご返信願います。

なお、本案内は富山市の住民基本台帳から無作為抽出した１８歳以上の市民２，４００名の皆様に送付させていただいております。

（お問合せ先）
富山市役所商業労政課
電話０７６－４４３－２０７０
公益社団法人富山青年会議所
電話０７６－４３３－３３３４

あなたの声でまちを変えよう!!
とやま
未来創造
ミーティング
2020
テーマ とやまの未来とわたし
議題1 まちづくりってなんだろう?
議題2 自分にできることってなんだろう?
日時 2020.2.15 土 ・16 日
両日 10:00－15:00
受付 9:30－ ※昼食の準備有
会場 富山県民会館401号室 富山県富山市新総曲輪4-18
「とやま未来創造ミーティング2020」とは?
市民と行政との協同により「まちづくり」を考える市民討議会です。住民基本台帳から無作為抽出された市民が、少人数のグループに分かれ、議題ごとに必要な情報の提供を受けて、地域問題などの身近な問題をディスカッションします。全国の多くの市町村でも開催されており、富山でも2010年度より開催され、今年で11年目を迎えます。
参加すると?
あなたの意見が富山市のまちづくりに反映されるかもしれません。討議で集約された意見は、報告書にまとめます。
当日の謝礼として些少ですが 5,000円をお支払いします
昼食の準備も ございます
主催：富山市／公益社団法人富山青年会議所

この案内は、住民基本台帳から無作為に抽出した18歳以上の市民 2,400名のみなさまに送らせていただいております。

あなたの声でまちを変えよう!!

とやま未来創造ミーティング2020

テーマ　とやまの未来とわたし

議題1　まちづくりってなんだろう?

議題2　自分にできることってなんだろう?

この度、富山市と公益社団法人富山青年会議所の共催で「とやま未来創造ミーティング2020」と題した市民討議会を下記の日程で開催する運びとなりました。この討議会は、市民主体のまちづくりの実現に向け、市民の皆様に、まちづくりの課題について討議していただく新しいシステムです。皆様が普段、とやまのまちについて感じていること、意見したいことなどをこの機会にお聞かせいただけないでしょうか?

議題ごとに情報提供いたしますので
お気軽に参加できます。

「とやま まちづくり市民討議会2018」から
前回の様子をご確認いただけます!
右記のQRコードを読み込んでアクセスしてください。▶▶▶

皆様に是非ご参加いただきたく、同封の返信ハガキにて出欠をお知らせください。
参加をご希望された皆様から厳正な抽選により参加者を決定させていただきます。

参加確定のご連絡は2月初旬に書面にてご連絡させていただきます。

日時　**2020.2.15(土)・16(日)**　両日 10:00-15:00
受付 9:30- ※昼食の準備有

会場　**富山県民会館401号室**
富山県富山市新総曲輪4-18

定員　**80名** ※各日40名

○いずれかの日で、10時から15時までのすべてに参加できる方に限らせていただきます。
○参加者には当日の謝礼として、5,000円をお支払いいたします。
○討議の様子は公開とさせていただき、ご自由に見学できます。内容報告についても後日、富山市役所のHPに掲載させていただきます。
○会場までの交通費または駐車料金は自己負担になりますのでご了承ください。

※取得した個人情報は、本討議会の目的以外には利用しません。

お問い合わせ

富山市役所商業労政課商業振興係
TEL.076-443-2070　FAX.076-443-2183

公益社団法人 富山青年会議所
担当:メンバーシップ醸成特別委員会
TEL.076-433-3334　FAX:076-433-7333
http://www.toyamajc.or.jp　E-mail:info@toyamajc.or.jp

主催者あいさつ（富山市）

主催者あいさつ（富山青年会議所）

討議風景

発表風景